



パフォーマンスモニタリングの設定

パフォーマンスモニタリング (PM) パラメータは、問題の早期検出のためにパフォーマンスデータを収集、保存、しきい値設定、およびレポートするためにサービスプロバイダーによって使用されます。ユーザーは、さまざまなコントローラの現在および過去の PM カウンタを複数の間隔で取得できます。

光パラメータの PM には、レーザーバイアス電流、送信および受信光パワー、平均偏波モード分散、累積波長分散、および受信光信号対雑音比 (OSNR) が含まれます。これらのパラメータにより、トラブルシューティングが簡単になり、より多くのデータを機器から直接収集できるようになります。

- [PM パラメータの設定 \(1 ページ\)](#)
- [PM パラメータの表示 \(2 ページ\)](#)

PM パラメータの設定

OTS コントローラのパフォーマンス モニタリング パラメータを設定できます。PM パラメータを設定するには、次のコマンドを使用します。

configure

```
controller controllertype R/S/I/P { pm { 15-min | 24-hour | 30-sec } ots { report | threshold } { opr | opt } value }
```

commit

例

次に、OTS コントローラのパフォーマンス モニタリング パラメータを 24 時間間隔で設定する例を示します。

```
configure
controller ots 0/1/0/0 pm 24-hour ots report opr max-tca enable
commit
```

上記のコマンドは、24 時間間隔で 0/1/0/0 コントローラの opr (受信した光パワー) の最大 TCA (しきい値超過アラート) を有効にします。

```
configure
controller ots 0/1/0/0 pm 24-hour ots threshold opr max 4000
commit
```

上記のコマンドは、24 時間間隔で 0/1/0/0 コントローラの opr の最大 TCA を設定します。

PM コレクタは、次の間隔で起動し、コントローラデータを収集します。

- 30 秒間隔 : 6 秒の 30 サンプルのジッタープロビジョニング
- 15 分間隔 : 45 秒の 32 サンプルのジッタープロビジョニング
- 24 時間間隔 : 45 秒の 1 サンプルのジッタープロビジョニング

ジッターにより、データプロバイダー PM エンジンで収集されたデータの計算遅延が生じます。

PM パラメータの表示

OTS コントローラのパフォーマンス モニタリング パラメータを表示するには、次の手順を使用します。

```
show controllers controllertype R/S/I/P { pm { current | history } { 15-min | 24-hour | 30-sec |
flex-bin } { optics lane-number } { bucket bucket-number }
```

pm history には **bucket** パラメータを指定する必要があります。

例 :

```
RP/0/RP0/CPU0:ios# show controllers ots 0/1/0/0 pm current 15-min optics 1
```

光コントローラの現在のパフォーマンス モニタリング パラメータを 15 分間隔で表示します。

```
Thu Mar 16 15:07:21.093 CET
```

```
Optics in the current interval [15:00:00 - 15:07:21 Thu Mar 16 2017]
```

```
Optics current bucket type : Valid
MIN AVG MAX Threshold TCA Threshold TCA
(min) (enable) (max) (enable)
LBC[% ] : 0.2 4.5 18.6 0.0 NO 0.0 NO
OPT[dBm] : -40.00 -0.40 8.00 -50.00 NO 10.00 NO
OPR[dBm] : -17.52 -17.01 -16.90 -50.00 NO 10.00 NO
```

```
Last clearing of "show controllers OPTICS" counters never
```

show controller コマンドが誤ったバケットを返すことがあります。たとえば、"Mon May 29 15:02:05.697 CEST" での次のコマンドクエリは、間隔 [15:01:30 - 15:02:00 Mon May 29 2017] のバケットが返されるはずですが、前のバケット [15:01:00 - 15:01:30 Mon May 29 2017] が返されます。

```
RP/0/RP0/CPU0:ios# show controllers optics 0/1/0/4 pm history 30-sec optics 1 bucket 5
```

バケット 5 に関連する光コントローラの現在のパフォーマンス モニタリング パラメータを 15 分間隔で表示します。

Mon May 29 15:02:05.697 CEST

Optics in interval 1 [15:01:00 - 15:01:30 Mon May 29 2017]

Optics history bucket type : Valid

	MIN	AVG	MAX
LBC[%]	: 335.3	341.3	352.3
OPT[dBm]	: 1.90	2.01	2.10
OPR[dBm]	: -12.20	-12.16	-12.10

Last clearing of "show controllers OPTICS" counters never

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。